

令和元年度第2回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：令和元年度第2回北杜市図書館協議会
(2) 開催日時：令和元年9月26日（木）午前10時～12時
(3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
(4) 出席者：協議会委員 山中 長壽／高橋 正子／堀内 直美／望月 淳一／
深澤 雅子／小澤 志保子
事務局 坂本 あけみ・大塚 美智子・三井 一也・小野 まどか
長田 卓子（すたま森の図書館）・山本 幸子（たかね図書館）・
高野 裕子（金田一春彦記念図書館）

(6) 中央図書館館長挨拶

(7) 協議会会長挨拶

(8) 議事

議題

① その他

報告

① 平成30年度北杜市図書館事業報告書について

② 各図書館の近況報告について

③ その他

(9) 公開・非公開の別：公開

(10) 傍聴人の数： 0人

(11) 審議内容

署名委員を堀内直美委員と望月淳一委員へ依頼

報告

① 平成30年度北杜市図書館事業報告書について

*事務局より資料に基づき説明

会長：30年度の活動内容が示されました。質問等ございましたらお願いします。

会長：5ページのウ「登録者数」とは？

事務局：利用者カードを持っている人の数です。

会長：登録率では、例えば明野では42.9%ですが、延べ利用者数（実人数）は約13%になります（588人÷4539人）。この計算を各館に施すと、以下のようになります。

須 玉：約39% 高 根：約26% 長 坂：約30%

大 泉：約69% 小淵沢：約29% 白 州：約29%

武 川：約29%

事務局：金田一春彦記念図書館（以下金田一図書館）に他の地区から借りに来る方もいます。地区在住者が当該地区の図書館を利用するとは限りません。

会 長：金田一図書館は特に特徴的なためそういう方も多いかもかもしれませんが、他の図書館はよほどでない限り地元民が多いですね。

委 員：明野図書館の利用者が少ないことが改めてわかりました。私も実際訪れて、楽しさよりもむしろ圧迫感の方を感じてしまいます。分類もわからずまるで倉庫のようです。図書館の面積も明野は 58.5 m²と狭すぎます。昔は公民館や郵便局にミニ図書館が整備されていましたが今はそれもないので、葦崎図書館に行ってしまう。

委 員：7月に8館巡回して参考になりました。各館共、地域を生かした工夫をしていました。人口4万7千弱の市に8図書館もあって宝だと思うし、地域に残してほしいと思います。しかし、平等とはならないまでも8館の差がありすぎます。明野図書館は本棚が高く圧迫感があって本を眺める気もおきません。どこかに移動できないでしょうか？また北杜市の図書館は子供向けの本をたくさん購入しています。ブックスタート事業等が生かされており良い事ですが、明野図書館には絵本を閲覧するスペースがないのです。なんとか考慮していただきたいです。また、予算も去年より5%減っているので、県内図書館での図書の交流（相互貸借）で補うべく利用者にも周知できたらと思います。

事務局：ここで29年度の決算の説明をします。

図書館が管理の費用として負担しているのは金田一図書館とたかね図書館の2館についてのみで、他は複合施設のため他部署が持っています。3933万3千円のうち金田一図書館屋根改修費用は約2300万円でした。

委 員：職員が増えているのに決算の給与額が減っている（約250万円）のは、給与の低い若い職員が配属になったからですか？

事務局：そうではありません。表は3月31日現在の人数で決算書の給与額に疑問が生じる形となっていますが、以下のとおり年度の途中で増減があったためです。

中央図書館	館 長	正職員	臨 時	備 考
29年度	1人	3人		
30年度	1人	3人 最初は2	1人	12月途中から正職員が1人増、臨時の1人は年度末まで継続。
31年度 令和元年度	1人	3人	1人	5月上旬から正職員が1人減、臨時1人増、7月から正職員1人増。

委 員：決して賃下げになったわけではないですね。

事務局：臨時職員の人件費について、まずアルバイトは賃金の総額が前年度に対して毎年2%減（シーリング）になります（約20万円）。また29年度末に司書が1人辞め、30年4月から求人を出していましたが応募がなく31年2月にやっと決まったためその分の差額が発生しました。

委 員：最低賃金額は守られているのですか？

事務局：クリアしています。

委員：2%減というのは、今年100円が来年98円で再来年は96円ということですね。

事務局：まだ指示が出ていないので来年どうなるかはわかりません。

委員：世間では上がっているのに？

会長：賃金は上がっているのですよね？

事務局：賃金は上がっています。人数を減らすことで賃金の総額の2%減を達成させています。

会長：すると、1人あたりの仕事量が増えていきますね。

事務局：開館時間を短縮する等ということがなければ厳しくなるので、お願いしていかなければならない部分と認識しています。

会長：この話の発端は明野図書館をより充実させるべく予算の細部を見てきましたが元に戻しましょう。

委員：図書館というものは前回アメリカの図書館の話もあったようにワクワク楽しい場所だと思います。都市部の図書館ではカフェや遊び場があったりしますが、ついに葦崎図書館でも実現しました。明野図書館に関しては明野総合支所の2階が空いているのでそこに図書館を移設したらどうかと問い合わせたこともありますが、耐震の問題があって不可能とのことでした。ならば1階を図書館にして、自動販売機を設置して2階を読み聞かせコーナーにすれば夢が広がると思いました。

事務局：これまでも明野図書館にはそのような要望をいただいています。比較対象の葦崎市には長年図書館がなく公民館の一角を図書館としていたものが、商業施設の跡地を買い取り、指定管理者制度を導入して立派になりました。1つの市で1つの図書館を維持する葦崎市（人口3万弱）と1つの市で8つの図書館を維持する北杜市（人口4万7千弱）では違いが出てくるのも当然です。新設や増改築にお金をかけることができれば要望を叶えることができますが、人口が減り税金を納める世代が減る中で、図書館だけ予算をかけて大きくするというのは厳しいと思います。公共施設の適正化配置の取組として各施設の統廃合を計画する中で、8つの図書館を守り、その内の1館を現状より広く充実させるというのは難しいと考えています。

委員：館長さんも明野図書館がこのままでよいとは思っていませんよね？

事務局：思っていないですが、明野図書館も含め8館を利用してください。葦崎図書館も図書館のすぐ近くに住んでいる人もいればそうでない人もいるはずですが、明野図書館でなくても金田一図書館まで足を運んでください。

委員：合併時の約束として、現在のサービスを低下させないことが挙げられていました。公共施設を3割削減させるということでタウンミーティングにも参加してきました。なんとかしてお金をかけずに文化の拠点である図書館を充実できないかと考えてきました。明野の子供達が金田一図書館まで来るには親に頼まなければ不可能です。総合支所ならば学校からも近く利用しやすいと思います。

事務局：おそらく葦崎市も同様だと思います。

委員：しかし蕪崎市は児童館が充実しています。

会長：負の遺産を残さないためにも財政の健全化を図る中で事務局の立場もよくわかります。8館を減らされるところを食い止めたお話もありました。そうしたところから1日の利用者数を出しますと、

明野：15人	すたま：42人	たかね：45人
ながさか：56人	金田一：78人	小淵沢：40人
はくしゅう：26人	武川：24人	

となり、さらに1時間あたりとなると数人となり非常に少ないです。

委員：今の明野図書館では行く気が失せるということです。

会長：もしも充実したところで必ずしも増えるとは限りませんし、増えないのが現状ではないかとも思います。

委員：明野図書館の職員はすごく努力していますよ。

会長：わかります。私もよいとは思っていません。いい環境を整えてあげるのは当然のことです。ただやはり相対的なものがあります。このような数字を見て「減らせ！」と言われてしまうところではありますが努力していただいているところです。

委員：市全体の予算が減っている中で図書館だけ例外が認められないのはよくわかります。しかし、見学してみて明野図書館は特に気の毒であると感じました。次に小さいむかわ図書館の約4分の1しかありません。前会長の柴山氏からも強く要望が出ていたと思いますが、にもかかわらず改善できなかったということはかなり困難な状況にあると推測できます。お金をかけずに移動させる工夫を前向きに検討できたらと思います。

事務局：こちらとしても皆様からの要望として上にあげており、企画課や地域課などこれからの北杜市をどうしていくかを考える課にいろいろと説明を行っています。しかし、難しい状況であることも理解していただけるとありがたいです。

委員：ちゃんと要望を届けてくださっていると聞いて安心しました。

会長：絵本が増えている点から、これからの時代は本に親しむ人を育てていくことが地域の文化の発展にもつながっていくと思います。こういう言い方は失礼ですが、高齢の方々に改めて読書の良さを言ってもなかなかということがあります。これからの担う世代のためにブックスタート等の充実もお願いします。やがてつながっていくのだと思います。以上で事業報告を終わります。

② 各図書館の近況報告について

*各図書館より資料に基づき説明

会長：6月1日から10月31日までの活動報告および予定が示されました。質問等ございましたらお願いします。

委員：夜間開催のイベントが多くありますが、時間外の勤務になるのですか？ボランティア

アですか？

事務局：各図書館によって異なりますが、超過勤務手当とする館と時間休に振り替える館があります。

委員：学校での読み聞かせ（朝読書）も時間外となっていますか？

事務局：主に時間休に振り替えることで対応しています。

委員：小淵沢図書館の「夏休みは図書館へ行こう！」について、展示のため参加人数は出せないということですが、どれくらい来たのですか？感想や利用の様子が知りたいです。

事務局：ながさか図書館と共催でスタンプラリーの参加者が約100名でしたのでそれ以上の参加があったのだと思います。

会長：かなり盛況だったようですね。他にありますか？

委員：金田一図書館の「大泉サービスおはなし会」はサービスの方から要請があるのですか？

事務局：はじめはボランティアが行っていたのですが、図書館でやってほしいということになり現在に至っています。

委員：他の図書館では子供中心のものが多く中めずらしい事業ですね。子供が本を好きになるのは一生ものことなので良いことですが、高齢になると返却日が負担になったり、歩くことが負担になったりして図書館に行きたくても行けない人が増えています。持続可能な社会、持続可能な図書館を目指すには少子化だからこそ子供に本をすすめる一方で足腰弱くなって行けない人でも本に親しむ企画でありがたいと思いました。図書館と支援センター等の他部署がタイアップした機会を設けてもいいと思いました。

明野図書館が寂しいと言いながらも113名も集まるイベントがあつてすごいと思います。少ないスタッフで努力の賜物だと思います。中央本線特急が停車しなくなったときJRの説明は「もっと乗車していれば残った可能性はあります」ということでした。これと同じでまずは親しむ、通う、利用する、イベントに参加することだと思います。

委員：高齢になると運転もできなくなるし通えなくなると思います。明野はこれほど利用があるなら環境的に改善していただきたいです。

委員：選書について、1年に36回行くと書いてありますが、どのように行っているのですか？リクエストを受け付けていることを広めたりして、地域の人達が要望を出せる機会をつくっていただけないでしょうか？

事務局：本の出版は1日に約200冊、年間8万冊を超えます。すべて購入できないためリクエストや利用者の傾向、時事話題などを取り入れたり、過去に出版された本で当時購入できなかったものが対象になります。8館を1つの大きな図書館という考え方で選書しています。また購入できなくても相互貸借制度を利用して県内全国の図

書館から借りることもできます。

会 長：出版状況や各館のリクエスト状況などを総合的に判断して、限られた予算の中で選書しているということですね。むかわ図書館では「図書館活性化会議」を行っていますね。様子をお聞かせください。

委 員：地域委員会から予算を頂き、ボランティアとして活動しています。図書館の手伝いや独自に企画をして運営に関わっています。

事務局：他部署とのタイアップについてですが、介護支援課や健康増進課とコラボしています。図書館は場所の提供と本の展示を担当し、今年は保健師による講座をすたま図書館で行うことができそうです。他にも例えば税金に関して確定申告の講座などの講師を該当部署の職員にお願いするというのも考えています。年間たくさんの図書館事業を行っていることに関連して、北杜市は幸いにもボランティアが大勢いて団体187人、個人61人、延べ261人（※）です。地域委員会の補助金を図書館で活用してくださることで人形劇などの劇団に依頼してイベントを行うことができています。表における利用人数は貸出人数のみでイベント参加人数は含まれていません。図書館の利用価値が地域のコミュニティ・情報の拠点の方に移行している中で30年度のイベント数は530件ありました。また職場体験受入や学校連携会議を含めれば570件にもなります。そういう意味では図書館の利用者は拡大しているといえます。図書館外でのイベントも多数行っているのも、それらの利用者数も含めればさらに多くなります。

（※延べとしたのは、1人が複数の団体に所属している場合や、団体としても個人としても登録している場合があるため。）

会 長：図書館の利用は、本を読むことや貸出する以外にも広がっていますね。事業報告書の中にそれらの記述があれば活用されている報告になると思います。

事務局：議会に出す決算書には全ての事業を載せたものを提出しています。次回からは協議会でも提出します。

委 員：先ほどの時間外勤務のことですが、夜開催に反対ではなく、働く人が補償されるのかどうか心配になったからです。夜間出労し、万一交通事故にあつて、労災保険が下りるのかどうかなど、補償があればいいのですが。

事務局：ボランティアの業務中の事故については補償があります。会場までの往復中の事故については対象外です。

会 長：他にありますか？

委 員：利用登録時の説明をもう少し詳しくお願いしたいです（8館すべて利用でき、どの図書館にでも返却できる点や、県内相互貸借のこと、視聴覚資料の場所など）。また、ながさか図書館には飲食可能なスペースがありますが、ながさか図書館だけでしょうか？

事務局：金田一図書館にもあります。図書館内では飲食禁止ですが、ホールでは可能です。

委員：飲食可能なことをアピールすれば長時間滞在する人が増えるのではないのでしょうか？

会長：図書館の利用案内・紹介ですね。ホームページには記載がありますね。

事務局：冊子もありますが、そのことについての記載はありません。

会長：ひとりひとりに説明するのも大変ですね。

委員：紙媒体ですでに登録済みの方にもお渡しできるようなものを作成したらどうでしょうか？ポスターにして掲示しておいてもいいですね。

会長：他にありますか？

事務局：その他報告があります。

- ①8月31日に開催された第20回金田一春彦ことばの学校は430名の参加がありました。20年の長きにわたり金田一家とことばの学校実行委員会のご尽力により行ってきた事業が終了となりました。方言川柳の記念品や講演やシナリオの作成など金田一家の皆様にはすべて無償でしていただき、また、実行委員会の皆様にも多大なご協力を頂きました。来年からの事業について現時点では未定です。
- ②市制施行15周年記念式典の中で善行表彰の対象者として、ことばの学校事業から金田一春彦氏の長女田中美奈子氏と奥様の金田一玉枝氏、図書館からは合併前から読み聞かせやおはなし会を行ってくださっているボランティア団体を推薦しました。図書館ボランティアについては全員一度にというわけには行きませんが、随時推薦し、表彰していきたいと思っています。
- ③次回開催は12月2日（月）13時30分より金田一春彦記念図書館にて行います。

以上